

平成 21 年第 4 回黒部市議会 1 2 月定例会
 一般質問（代表・個人）通告要旨

一般質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	日本共産党 谷 口 弘 義	<p>1 「構造改革」の政治は都市と地方に格差拡大をもたらし、社会保障制度を壊した。その回復を国に求めよ</p> <p>(1)地方交付税、社会保障費について 前政権の「構造改革」の政治によって減らされた地方交付税はいくらか 黒部市で社会保障に関わる補助金は、毎年 4 億 6,000 万円も削減されている。新政権となった今でも地方交付税、社会保障費を元に戻せと国に要求するべきと思うが</p> <p>(2)後期高齢者医療制度について 厚生労働省は後期高齢者医療制度の保険料について、2009 年度は全国平均で 6 万 2,000 円であったが、2010 年 4 月から 13.8%、8,556 円増の 7 万 556 円になると試算している。黒部市ではどのような試算になるのか これまで保険料を払えない人に、資格証明書、短期保険証を発行しないようにしていきたいと答えられているが、未払いの人の処遇はどうか 後期高齢者医療制度はやめるべきと思うが</p> <p>(3)介護保険制度について 黒部市内で、介護施設等への入所待ち（待機者）の実数は何名か。 その解消策は 介護報酬の 3% 引き上げで市内のどれだけの施設が対象となったのか。介護職員の賃金アップにどのくらい効果があったのか 介護職員処遇改善交付金が予算化されている。申請した事業者はいくらで、何人分か</p>	市 長

		<p>新川介護保険組合には4億6,500万円の繰越金がある。介護保険料の値下げをするべきと思うが</p> <p>(4)国民健康保険について 黒部市は、今年の4月から国民健康保険税を25%近く値上げをした。国は来年4月から国民健康保険料の年間上限額を4万円引き上げる方針を決めた。市では国保加入者にこれ以上の負担を求めるべきではないと考えるが</p> <p>(5)国民健康保険法第44条について 国保法第44条についてこれまでも質問をしてきた。近隣市町の動向も見ながらなどと答弁されてきた。厚生労働省の通達からも、今どのような検討をされているのか住民の生活実態からも国保法第44条を適用すべきと考えるが</p>	
		<p>2 市民病院でのジェネリック薬品の使用拡大について</p> <p>(1)市民病院でのジェネリック薬品の使用品目、使用率がほとんど変わっていない。ジェネリック薬品の使用拡大について今後どのようにしていくのか</p> <p>(2)国の指針のように30%になると、患者、国保会計にどのような効果があるのか</p>	<p>病 院 長</p> <p>市民生活部長</p>
		<p>3 黒部市で発注する公共工事について</p> <p>(1)市ではこれから消防署、病院、市庁舎等の建設が計画されている。地域経済、地元業者のことも考え、地元業者がジョイントを組んで参加出来るなど、条件付きの一般競争入札などを考えたかどうか</p>	<p>市 長</p>
		<p>4 黒部川出し平ダム、宇奈月ダムの排砂改善と「黒部川直轄総合水系環境整備事業」について</p> <p>(1)これまでも黒部川出し平ダム、宇奈月ダムの排砂改善を求めてきた。期間などを区切らず、出水時ごとにこまめに排砂を行うなど、改善しなければならないと思うが</p>	<p>市 長</p>

		<p>(2)ダム湖、ダム下流域の長期濁りは、自然環境にも生態系、生物の多様性にも影響を及ぼしている。ダム湖への貯水を遅らせるなど、早期濁りの解消が必要だと思うが</p> <p>(3)国土交通省は 2003 年度から「宇奈月ダム水環境改善事業」として一定の水を流してきたことで、黒部川の環境を一定程度作ってきたのではないかと。2008 年度から名称を「黒部川直轄総合水系環境整備事業」となったが、同じように一定の水を流している。この事業を来年度からも継続するように、国に求めていくべきと考えるが</p>	
2	会派清流 坂井 守	<p>1 22年度予算編成について</p> <p>(1)国の予算編成も遅れると予想される中で、当市の予算の用途は。国からの情報や内示はあるか。合併特例は。事業仕分けの影響は。権限委譲の受け皿として本市の体力は。黒部市独自の景気雇用対策は</p>	市長
		<p>2 庁舎建設とまちづくりについて</p> <p>(1)市庁舎の建設とまちづくりについて市長としての見解</p>	市長
		<p>3 観光とまちづくりについて</p> <p>(1)黒部ルート的一般開放について (2)黒部ロープウェイ計画について</p>	市長
		<p>4 宇奈月公園整備とまちづくりについて</p> <p>(1)公園整備と温泉街の美化運動について</p>	都市建設部長 産業経済部長
		<p>5 新幹線駅前整備とまちづくりについて</p> <p>(1)駅前利用の価値観と新幹線開通による本市に及ぼす影響について</p>	市長
		<p>6 農業政策とまちづくりについて</p> <p>(1)市特有の物産、農作物や食材等、黒部ブランドの創出、育成とまちづくりについて</p>	市長
		<p>7 農産物直売所について</p> <p>(1)建設場所決定のプロセスについて</p>	産業経済部長

3	新樹会 伊東景治	1 今後の市政運営について (1)市長選への出馬について (2)今までの成果と今後の課題 (3)政権交代による市行政への影響 (4)平成22年度予算編成について	市	長
		2 危機防災管理について (1)J - A L E R T (全国瞬時警報システム)について (2)危機防災管理室について	市	長
		3 タウンミーティングについて (1)内容と市長の感想 (2)新庁舎建設について	市	長

一般質問(個人)

質問順	質問議員	質問事項	答弁者	
1	橋本文一	1 基幹産業の農業について(コメ戸別所得補償モデル事業について) (1)コメの「生産数量目標」に即した生産を行った販売農家に対して所得補償を直接支払により実施するとなっているが、どのような事なのか (2)水田を有効活用して麦、大豆、コメ粉・飼料用作物等の生産を行う販売農家に対して、主食用米並みの所得を確保し得る水準を直接支払いにより交付するとなっているが、どのような事なのか (3)(1)~(2)が黒部市の水田農業にどのような影響があるのか (4)農家の経営を守るには、農産物の価格補償、農業の多面的機能に配慮した所得だと思ふ。また、日米間においてF T A (自由貿易協定)が締結されればコメの生産に重大な影響を及ぼす。日米F T Aに反対すべきと思ふが	市	長
		2 新幹線新駅周辺整備と主要地方道黒部宇奈月線の改良事業の促進について (1)現在、新駅周辺整備が進められているが、用地取得、物権移転等の進捗状況は	市	長

		<p>(2)余儀なく移転対象となる住民の意見をくみつくし、新駅周辺整備を行うべきと考えるが</p> <p>(3)県道黒部宇奈月線として現在の8号線より、浦川端舌山線まで工事が進められているが、宇奈月方面への延伸をどのように行うのか</p> <p>(4)新駅のアクセス道路として、長年にわたり住民と協議してきたが主要地方道黒部宇奈月線(旧朝日公園線中坪～東町間)の改良事業が進まない。県に対して改良事業の促進を強く求めていくべきと思うが</p>	
		<p>3 公共交通について</p> <p>(1)9月定例会において、来年度よりコミュニティバスの試験運行を行うとの答弁であったが試験運行の実施を行う地域は決まっているのか</p> <p>(2)タウンミーティングが4か所で行われ、それぞれの地域から意見が述べられたが、今後、述べられた意見をどのように進めていくのか</p>	市長
2	川上浩	<p>1 農業施策の転換による農業現場への影響について</p> <p>(1)戸別所得補償制度の導入など転換される農業施策はどのような制度になるのか</p> <p>(2)地区の転作のみを受託している組織は、戸別所得補償制度導入により助成金が減少し経営に行き詰るのではないか</p> <p>(3)団地化など地域ぐるみで水田の高度利用に取り組んできた地域や組合は取り組みの見直しに迫られるのではないか</p> <p>(4)大豆・大麦・特産物への助成単価が下がり、米粉が特別高い単価になると、団地形成が困難となり、せっかく育成してきた組織が経営に行き詰ったり、特産物の生産にも影響が出るのではないか。</p>	市長
		<p>2 合併特例債の今後の利用計画について</p> <p>(1)合併特例債の利用状況はどのようになっているのか</p>	市長

		(2)厳しくなる財政事情の中で、平成 27 年度までの期限付きの合併特例債をどのような計画で利用するのか (3)事業実施計画と併せ、公債費負担適正化計画を明確にすべきである		
3	寺田 仁 嗣	1 太陽光発電の導入について (1)市内の導入件数の進捗について (2)公共施設への対応について (3)更なる支援体制の充実について	市	長
		2 郷土文化保存伝習館・ミュージアの活用と歌碑句碑の移転について (1)郷土文化保存伝習館・ミュージアの今後の対応について (2)歴史民俗資料館とのかかわりについて (3)歌碑句碑の移転対応について	市	長
		3 黒部ブランド認定品の更なる飛躍と特産魚について (1)黒部ブランド認定品の今後のあり方について (2)真のブランド品の育成について (3)特産魚の命名について	市	長
		4 トキの保護対応について (1)トキの生息出来る生態系の整備について (2)現状から見ての今後の対応について	市	長
4	竹山 繁 夫	1 政権交代を受け予算策定に当たっての対応について (1)事業仕分けについての感想と危惧される施策について (2)情報の収集強化のため、庁内会議の充実した取り組みは (3)政策実現のための官庁への出向、陳情についての今後の考え方	市	長
		2 宇奈月庁舎の方向づけについて (1)新庁舎建設後の宇奈月庁舎の役割と使命について	市	長
		3 行政改革実行計画（アクションプラン）における市民満足度（成果）重視の行政運営について (1)事務事業評価の実施の効果について (2)電子申請・届出システムによる市民負担について (3)窓口サービスの拡充（土日実施）について	市	長

		(4)ショッピング施設等への市窓口サービス設置の検討について (5)窓口サービスの向上と接遇の改善への取り組みについて	
5	辻 靖 雄	1 景気回復へ総力を挙げよ (1)陳情・要望への人脈開拓の努力で財源確保を (2)民主党の陳情の「ルート改革」は正しいか (3)地区要望の評価と対応について (4)「子ども手当」の政策をどのように見るか (5)高校卒、大学卒の就職対応について (6)エコカー、エコ家電、エコ住宅購入支援策の推進について (7)公共事業の適正単価の発注拡大を (8)「1次補正の凍結」や「事業仕分け」の影響事業は	市 長
		2 教育の諸課題について (1)生徒間の暴力行為の予防策について (2)健康教育への取り組みについて (3)「お金」の教育について (4)新給食センターの管理運営体制について (5)桜井中学校の建設スケジュールについて	教 育 長
		3 選挙投票日の閉鎖時間を繰り上げよ (1)投票時間の延長による投票率のアップの効果について (2)期日前投票の現状について (3)開票（午後9時以降）に掛かる経費について	選挙管理委員会委員長
6	小 柳 勇 人	1 コミュニティ交通について (1)今後の整備への考え方は (2)来年度の取り組みについて	市 長 都市建設部長
		2 市庁舎建設について (1)求められる機能について	市 長
		3 次世代育成について (1)人口ピラミッドの変動について (2)若者による、まちづくりについて	総務企画部長 市 長